

## 平成 29 年度 研究成果報告書

### Research Achievement Report FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア・アフリカ言語文化コース 教授
氏名 Name	藤元 優子
専門分野 Academic Field	イラン現代文学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	現代イラン女性作家に関する研究
<ol style="list-style-type: none"><li>1. 昨年に引き続き、著名な女性作家モニール・ラヴァーニープール（1953- ）を、イラン南部地域の地方文学作家として位置づけ、その故郷であるブーシェフル地域を扱った作品を分析して、現代イランの地方小説の中でも土着的幻想世界によって特異な地位を占める作品群について、魔術的リアリズムとの関連を重視しつつ論考を行った。その結果は、ペルシア語専攻の紀要『イラン研究』14号に資料「M.ラヴァーニープール著『溺れし者』解題」として発表した。また、『溺れし者』の翻訳出版は実現性が薄いとの見通しから、学部生の協力を得た同作家の短編小説選の発行を企画し、来年度の完成に向けて校正を開始した。</li><li>2. 所属する中東現代文学研究会が開催する6月定例研究会（2017年6月18日 東京外国語大学本郷サテライトにおいて開催）で、「『溺れし民』再考—湾岸文学作家としての M.ラヴァーニープール—」と題した研究発表を行った。</li><li>3. 2017年9月にイランに2週間渡航し、資料収集と研究打ち合わせを行った。</li><li>4. 科研基盤研究（A）「イスラーム・ジェンダー学の構築のための基礎的総合的研究」（研究代表者：長沢栄治）の連携研究者として、現代文学関連の参加者と共有する企画「砂漠の探求者を探して—女性たちと百年—」の研究会に計5回参加し、意見交換を行って、20世紀前半のイラン小説の中の女性像についての研究の一助とした。</li></ol>	